

平成29年

目黒区教育委員会

第44回定例会会議録

(平成29年11月21日開催)

第44回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成29年11月21日

開催場所 教育委員会室

| | | |
|------|---------------|--------|
| 出席委員 | 教育委員会教育長 | 尾崎 富雄 |
| | 教育委員会教育長職務代行者 | 笹尾 敦夫 |
| | 教育委員会委員 | 中山 ひとみ |
| | 教育委員会委員 | 後藤 幸子 |
| | 教育委員会委員 | 櫻井 道雄 |

| | | |
|------|----------|--------|
| 出席職員 | 教育次長 | 野口 晃 |
| | 教育政策課長 | 山野井 司 |
| | 学校統合推進課長 | 増田 武 |
| | 学校運営課長 | 村上 隆章 |
| | 学校施設計画課長 | 照井 美奈子 |
| | 教育指導課長 | 田中 浩 |
| | 教育支援課長 | 酒井 宏 |
| | 統括指導主事 | 寺尾 千英 |
| | 統括指導主事 | 古舘 秀樹 |
| | 生涯学習課長 | 馬場 和昭 |
| | 八雲中央図書館長 | 石松 千明 |

| | | |
|----|--|--------|
| 書記 | | 小野塚 幸隆 |
| | | 山東 隆博 |

(議事日程)

- 日程第1 議案第46号 目黒区教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行等に関する規則の一部を改正する規則
- 日程第2 報告事項 平成30年度当初予算に係る主な要求項目について
- 日程第3 報告事項 平成30年度目黒区立小・中学校及び幼稚園・こども園教育課程の基本方針及び教育課程編成実施の留意事項(基本的な考え方)について(案)
- 日程第4 報告事項 友好都市との学校間交流促進の考え方について(案)
- 日程第5 報告事項 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について

(午前9時30分開会)

- 教育長 第44回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は中山委員です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 議案第46号 目黒区教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行等に関する規則の一部を改正する規則)

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
特にないようですので採決を行います。
本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第46号は原案どおり可決します。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成30年度当初予算に係る主な要求項目について)

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がございますか。
○委員 部活動の外部講師が話題になっていて、先生方の働き方改革も含めて、そのあたりの予算はどうでしょうか。また、小学校の校長先生から聞いたところによると、いい教員を育てるためには、校内研究などを行いたいけれども、予算の関係で講師の方を呼ぶのが厳しいという話でした。そのあたりの校内研究費などの予算の計上はどうでしょうか。

- 説明員 部活動の外部講師の予算ですけれども、これまでも確保してございますので、特に拡大という形ではないのですが、これまでどおりの額を確保してございます。既定経費化されているので、この資料の一覧の中には含まれずに、別枠としてこれまでと同額の予算を計上しています。

- 説明員 各学校での研究費につきましても、既定経費の中で行っており

ますので、昨年度と同様で、各学校8万円程度の研究費という形で考えてございます。

○委員 既定経費で2つとも計上なさっているということですがけれども、例えば、新しく何校かが外部講師を雇いたいときには、対応できるだけの経費が計上されているのでしょうか。先ほどの校内研究に関しても、既定経費では足りないという話を聞いてます。

○説明員 部活動の外部指導員の謝礼でございませけれども、例年、三千数百万円用意してございます。各学校によって、部活動の活発なところ、あるいは小学校で特設のクラブを幾つか抱えているところなど予算の配当の状況は違いますが、学校単位で見たときに、新たな活動をしたい、あるいはより拡充したいというときに不足ということもあるかと思いますが、全体の中ではおさまりますので、各学校の状況に応じて、臨機応変に対応していきたいと思えます。

○説明員 ご指摘のとおり、各学校から専門性を持ったゲストティーチャーをお呼びしたいという声があり、昨年度から、1校当たり4万円程度でゲストティーチャーを呼べるような形にさせていただいています。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成30年度目黒区立小・中学校及び幼稚園・こども園教育課程の基本方針及び教育課程編成実施の留意事項(基本的な考え方)について(案))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 理科の観察・実験支援員は、以前から活用されているのはわかるのですがけれども、具体的に成果を上げているということがあれば教えていただきたいと思えます。理科は、高学年で学力の定着に課題があったと思えます。教育委員会として何か考えているようなことがあれば、それを伺いたいと思えます。

○説明員 観察・実験支援員の成果ということですが、こちらは、主に実験の準備や片づけ、活動の補助ということを行っています。

高学年の実験につきましては、ガスバーナー等、危険なものを

使いますが、これを一人一人が安全に使えるように複数の目が入ることにより、一人一人が道具を触って実験を行えるということで、ただ見ているだけではなく、体験を通して学ぶという機会が増えております。若手の教員が実験に当たることも多いのですが、何度もそういった高学年の支援を行っている支援員と一緒に実験の準備や片づけを含めた補助を行うことで、実験の内容の充実も図られているところです。

○説明員 学力調査等で課題のある内容につきましては、毎年学力調査の実施結果が学校に返された段階で、それぞれの学校がその単元についての指導内容をもう一度確認しているところです。

○委員 「21世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐろの子ども」、「信頼される学校」とあるのですけれども、ついていけない子どもたち、外れた子どもたち、そういう子どもたちに対するサポート体制はどのようになっているのでしょうか。

○説明員 「確かな学力」のところに示しているのですが、特に算数など、確実な学習内容の定着を積み上げていかないと、つまずきやすい教科につきましては、習熟度別に分け、それぞれのコースで指導内容を工夫して進めていく方法をとっています。

また学習指導員、学習指導講師がそれぞれの学校に配置されておりますので、それぞれの学校の子どもたちの実情を見て、配置している教科が算数であったり、国語であったり、苦手な子どもが多い教科の実態に合わせて、それぞれの学校で複数の目で見えていくということで、学力の定着を確実に図っていくように工夫しています。

○教育長 資料4ページの「4その他の留意事項」の(1)と(2)ですが、この(1)と(2)は、特別支援教室事業等の充実、障害のある児童・生徒への対応、交流及び共同学習のことを言っていますが、「その他の留意事項」という位置づけが適切かどうかということがあります。

○説明員 従来から「その他の留意事項」に特記されていたという経緯がありますが、ただいまのご指摘を受け、改めて検討をしたいと存じます。

○教育長 教育委員会としての考え方をしっかり述べられるよう、再度検討をお願いします。

○委員 自然宿泊体験教室は、豊かな心を育む教育に入ってくるのではないかと思います。

○説明員 自然宿泊体験教室についてですが、豊かな心を育むという要素もございしますが、その環境でしか実施できない教育活動を豊富に取り入れ、宿泊を伴う行事を行うこととなります。例えば農林水産業にかかわる体験活動であったり、その地域の特色や産業等に対する理解を深める活動といった学習活動なども含まれているということもあり、その他の留意事項としました。

○教育長 学校教育プランの体系が7項目あります。その中に「豊かな心の育成」があると思えますけれども、自然宿泊体験教室はどこに位置づけられていますか。

○説明員 「豊かな心の育成」の中の「体験学習の実施」の中に、「職場体験活動」などと一緒に記載されております。

○教育長 それとの整合性はどうか捉えたらよいのでしょうか。

○説明員 目黒区の自然宿泊体験教室事業が「豊かな心の育成」におさめられていることも踏まえまして、改めて位置づけを検討させていただきたいと思えます。

○教育長 再度検討をお願いします。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第4を議題とします。

(日程第4 友好都市との学校間交流促進の考え方について(案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○教育長 金沢市との交流ですけれども、小学校6年と中学校1年が3泊です。中学校の修学旅行は2泊ということですがけれども、今、小学校6年の興津の自然宿泊体験が3泊4日、中学校の八ヶ岳の自然宿泊体験が3泊4日なので、それを横引いてきたと思えますが、場所が金沢市に変わって3泊のメニューがはっきりイメージできているのであれば、示していただかないと代替えにはなりません。それから今後の予定ですがけれども、平成31年度「以降」というのを入れ、交流もしくは現地への自然宿泊体験教室を順次開始するということだと思います。ですので表現は変えていただきたいと思えます。

○説明員 自然宿泊体験教室につきましては、4年生からの段階的な泊数

の増加というところの位置づけで3泊4日になっておりますが、修学旅行につきましては、こちらは私費で行くということもございまして、その予算の考え方などからも2泊3日程度というところになっていきます。

交流校の拡大については、記載を修正してまいります。

現地への自然宿泊体験教室を開始というところにつきましては、平成31年度以降順次開始といった形に記載変更したいと思いません。

- 教育長 小・中学校に通知する際や、実施校を募集する際には「案」をつけたままで、考え方として示していただきたいと思いません。
- 実地踏査等の実施は、実施予定です。実施予定ということでは、予算がとれているわけではないので、12月ということであれば、予定を入れてもらうということをお願いしたいと思いません。
- 平成31年度以降のところ「交流もしくは現地」、「もしくは」ではなく「及び」だと思います。どちらかを選ぶわけではないので、ここの表記は工夫していただきたいと思いません。

- 教育長 その他ご質問等ございますか。
- 特にないようですのでこの報告を受けました。
- 次に日程第5を議題とします。

(日程第5 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございますか。
- 教育長 千葉県産について検査しています。これはどういう経緯ですか。
- 説明員 千葉県の館山産のお米ですけれども、一部の学校で、目黒の米穀組合を通さずに過去の経緯で購入している学校がございまして、引き続き測定を行っているところです。
- 教育長 その他ご質問等ございますか。
- 特にないようですのでこの報告を受けました。
- 以上で本日の定例会を閉会いたします。

(午前10時46分閉会)